

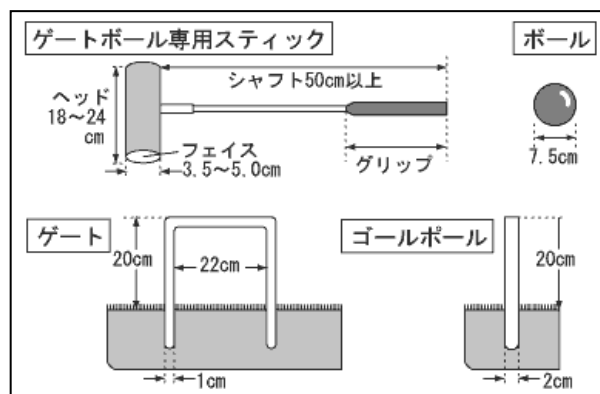
## ◆ゲートボール ルール

### 1. ゲートボールとは

2チーム10人の選手が、それぞれ自分のボールをT字型のスティックで打ち、決められた順に3つのゲートを通させ、ゴールポールに当てれば上がりとなる。ゲートを通すごとに1点、ゴールポールに当てると2点になり、その合計点を競う。また、スパーク打撃で、自チームのボールを有利な位置に進めたり、他チームのボールを妨害したりして、チームメイトと連携を取ることでさまざまなプレーができるのも魅力の一つである。

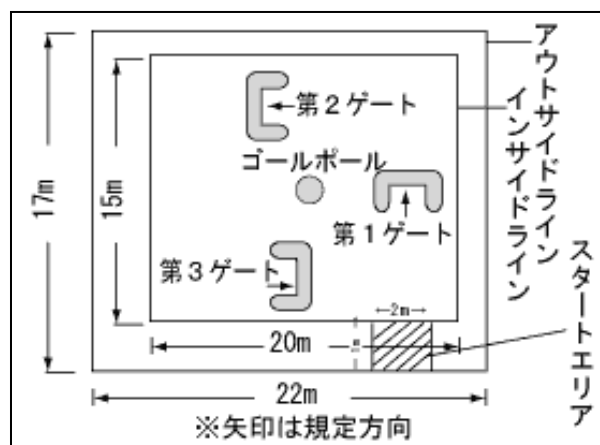
### 2. 用具

ゲートボール専用スティック、ボール、ゼッケン、ゲート、ゴールポール



### 3. コート

運動場、体育館等にコートを設定する。



#### 4. ルール

- (1) 主審の打撃通告から 10 秒以内に打たなければならない。
- (2) スティックヘッド以外の部分で打ってはならない。
- (3) 二度打ち、押し打ちをしてはならない。
- (4) 打撃の強弱、打つ意志の有無に関わらずスティックがボールに触れたときは、打撃したものとみなす。
- (5) 空振りは、打撃したものとみなされる。
- (6) 第1ゲートは、1 打で通過しなければならない。
- (7) スパーク打撃について
  - ①自分の打ったボールが、他のボールに当たった時（タッチという）に行うことができる。まず、自分のボールが静止した位置で、自分のボールを足の裏で踏み押さえ、当てたボールを自分のボールに接触させて、スティックで自分のボールを打ち、そのショックで当てたボールを転がすことを「スパーク打撃」という。
  - ②第1ゲートを通過していないボールは、タッチを認めない。
  - ③自分のボールやタッチした他のボールが、アウトボールになるとスパーク打撃権が失われる。
  - ④スパーク打撃に成功したら、スパーク打撃権の数と同じだけ、自分のボールを打つことができる。
  - ⑤スパーク打撃の権利を放棄することはできず、必ずスパーク打撃しなければならない。
  - ⑥1 回の打順中に、2 度タッチしてはいけない。
  - ⑦1 回の打撃で、2 個以上の他のボールに次々とタッチしたら、タッチしたボールは順番に関係なくスパーク打撃をする。
  - ⑧スパーク打撃をした時、ボールが足から離れたり、他のボールが移動しない場合は、スパーク打撃失敗とし、引き続きプレーができない。
- (8) 競技時間は 30 分とする。

#### 5. プレーの進め方

- (1) ジャンケン又はコイントスにより、先攻、後攻を決める。
- (2) 先攻のチームが「1, 3, 5, 7, 9」の赤色の奇数番号ボール、後攻のチームが「2, 4, 6, 8, 10」の白色の偶数ボールを持ち、赤白交互にボールを打つ。
- (3) 審判員の打撃通告の後、打者はスタートエリア内にボールを置いて第1ゲートをねらって打撃する。
- (4) 第1ゲートを通過できないものは、第4ライン側フリーゾーンで順番

の最後尾につき自分の順番を待つ。

- (5) 以下自チームが有利になるように、監督及び主将等の采配により作戦を展開しゲームを進める。
- (6) ボールがゲートを通る毎に1点、上がりは2点となる。よって、上がりとなったプレイヤーの合計得点は5点となる。どちらかのチーム全員が上がりとなり25点を取得した時点でそのチームの勝ちとなる。競技時間を過ぎた場合は、その時点の総得点が多いチームの勝ちとする。

